探究的学習プログラム

Inquiry-Based Learning Program

すべての教育活動において、探究的な学習活動を取り入れます。実際の学習活動では、講義中心の授業だけではなく、自ら考え、アイデアをグループで話し合い、発表等を通してクラス全体で共有するといった活動を行い、学びを深めていきます。

正解のない課題に対し、さまざまな意見や考えを交えながら、自らが最適解を導きだしたり、興味のある内容に探究的なアプローチで学びを深めるなどして、本校が育成を目指す資質・能力を育みます。

進学探究クラス

一般受験で選抜性の高い国公立大学や私立大学への入学を目指すといった同じ目標を持つ生徒が集団になると、その集団の意識の高さが個人の意識をより高め、進学に向けて全員が互いに切磋琢磨する雰囲気が生まれます。このような相乗効果を狙った、ワンランク上の大学進学を目指すクラスを「進学探究クラス」として１年次に１クラス設けます。

２年次以降は進路希望の動向などにより、クラスの設置数の変更や「進学探究クラス」と「自己探究クラス」の生徒の入れ替えなどを予定しています。



５５分授業

１単位時間を５５分とし、授業等における探究的な活動の充実を図ります。毎日の各教科・科目において話し合いやグループワークなどを行ったり、５５分の授業時間すべてをプレゼンテーションに充てることもあります。また、少人数指導やティーム・ティーチングを行うなどして、個に応じたきめ細かな指導を行います。

自己探究クラス

探究的、体験的な学習を通じて、公務員や一般企業などへの就職希望者、医療系・調理系・介護福祉系などといった専門学校、あるいは道内外の様々な大学・短大への進学希望者など、自分のやりたいこと、学びたいことを探究しながら、個々の多様なキャリアの実現を目指す「自己探究クラス」を１年次に５クラス設けます。





